



当センターの理念

リハビリテーション医療の技術を通じ、身体障害者及び地域住民のQOL（生活の質の向上）に奉仕する。

吉備高原医療

リハビリテーションセンター広報誌

2025年（第140号）

脳卒中のリハビリテーション治療の仕組みについて

吉備高原医療リハビリテーションセンターでは、地元の方々の回復期リハビリテーション治療を急性期治療から引き継ぎ、障害者病棟にて実施しています。当院では、障害者施設等入院基本料の算定要件のため、脳卒中患者の受け入れは入院の30パーセントを超えない範囲で行っていますが、特に、地元の方へは十分な対応が可能です。

当院では、自主訓練の指導を行い、患者さんが自分で治るための訓練を行うスペースと機材を十分に備えています。これにより、患者さんは自身でも継続して訓練を行うことができ、タイミングを失することなく効果的な早期リハビリテーション治療を実施でき回復を促進します。

脳卒中は再発することがある疾患であり、再発時には発症時と同様に早期の救急病院への受診が必要です。当院では、再発時の迅速な対応を重視しており、連携病院への転院にて患者さんが適切な治療を受けられるようサポートしています。

また、当院のリハビリテーション科では、患者さん一人ひとりに合わせたリハビリテーションプランを作成し、個別のニーズに応じたリハビリテーション治療を提供しています。専門のリハビリテーションスタッフが、患者さんの回復を全力でサポートし、日常生活への復帰を目指します。

さらに、当院では地域との連携を重視しており、地域の医療機関や福祉施設と協力して、患者さんが退院後も安心して生活できるよう支援しています。地域のリハビリテーションネットワークを活用し、患者さんが必要なサービスを受けられるよう調整を行っています。

脳卒中の早期発見と治療の重要性を示す「FAST」も、入院中および退院後の生活において非常に重要です。「FAST」とは、顔面の麻痺（Face）、腕の筋力低下（Arm）、言語障害（Speech）、そして時間（Time）の頭文字を取ったもので、これらの症状が見られた場合にはすぐに医療機関を受診する必要があります。当センターでは、患者さんとそのご家族に対して「FAST」の重要性を啓発し、再発時にも迅速に対応できるよう指導しています。

吉備高原医療リハビリテーションセンターの強みは、専門的なリハビリテーションスタッフによる個別対応、充実した自主訓練設備、地域との強固な連携体制にあります。これにより、患者さんは安心してリハビリテーションを受けることができ、退院後は介護保険サービスがすぐ使えるようメディカルソーシャルワーカー等が相談に応じます。

脳卒中が心配な方には、MRA（脳の血管を撮影する検査）を含めたMRI検査、心房細動を確認するための検査、頸動脈エコーなどの検査を外来でも実施しています。これにより、地域の方々が脳卒中のリスクを早期に発見し、適切な予防策を講じることが可能です。

吉備高原医療リハビリテーションセンターは、患者さんの回復を第一に考え、質の高いリハビリテーション医療を提供することを目指しています。患者さんとそのご家族が安心して治療を受けられる環境を整え、地域社会に貢献していきます。

リハビリテーション科部長
難波 孝礼

右中大脳動脈領域の脳梗塞

頭部MRI



頭部MRA





短期入院について



①当センターでは、在宅で生活を送られている脊髄損傷患者を対象に、療養・介護生活を医療面から支えることを目的とした短期入院（ブラッシュアップ入院）を行っております。

当センターでの入院歴があり、在宅で生活している方が対象で、入院期間は1ヶ月程度です。入院中には機能低下に対するリハビリテーション、必要に応じて検査（MRI・CT・血液検査・骨密度・肺機能検査・胃カメラ・座圧測定等）、福祉用具の調整を行っています。

②また、当センターは独立行政法人自動車事故対策機構（以下、ナスバ）が実施する短期入院協力病院の認定を受けております。自動車事故が原因で在宅生活を送られており、ナスバが支給する介護料を受給している方は、リハビリ目的に限り1回あたり30日までの期間において当センターで入院が可能です。また、ナスバから入院にかかる費用が助成されます。（年間の上限日数は45日）短期入院を希望される方は、当院の地域医療連携室（[TEL:0866-56-7046](tel:0866-56-7046)）までご相談ください。

右のQRコードからナスバの関連ページにリンクします。



独立行政法人自動車事故対策機構関連URL

https://www.nasva.go.jp/news/pdf/2022/20220401_2.pdf